

保護者 各位

大洲市長 二宮 隆久

令和8年度 二種混合(ジフテリア・破傷風)予防接種について

二種混合(ジフテリア・破傷風)予防接種の実施について、必要な書類を同封しています。

ジフテリア・破傷風を予防するために、予防接種法の定めにより、**11 歳以上 13 歳未満**のお子さんは二種混合予防接種を受けるように努めなければなりません。(定期予防接種)

裏面の説明を熟読のうえ、予防接種の副反応等についても十分ご理解いただけましたら、必要事項を記入し、指定の医療機関で接種を受けてください。

1. ワクチンについて

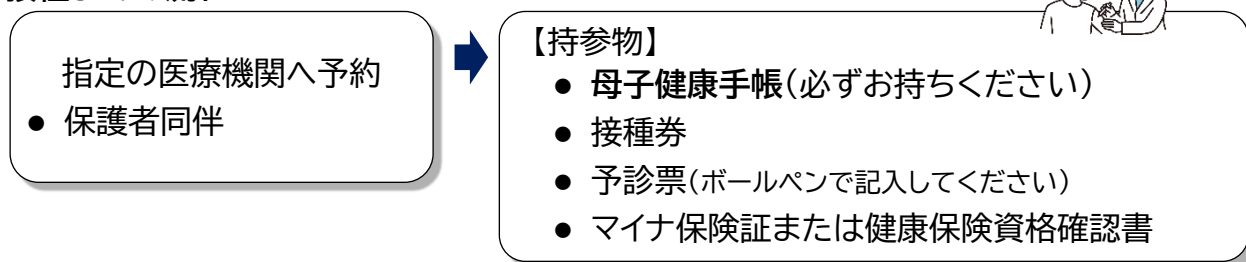
対象者	定期接種期限
平成 26 年 4 月 2 日～平成 27 年 4 月 1 日生まれの方	13 歳の誕生日前日まで

※ 定期接種期限を過ぎると**任意接種(全額自己負担)**となります。**早めに接種してください。**

※ 四種混合(1期/計 4 回)の接種がまだ完了していない方

1期については定期接種として扱える年齢を過ぎていますので接種できません(任意接種となります)。確実な免疫を獲得するためにも、接種をお勧めします。2期は定期接種になります。接種スケジュールについては、かかりつけ医にご相談ください。

2. 接種までの流れ



3. 予防接種実施医療機関(市内)

(令和8年3月時点)

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
井関クリニック	25-6212	菊原医院	26-0103
おおくぼこどもクリニック	57-9366	ごとう小児科	23-0510
大久保内科クリニック	26-1131	みやうち医院	25-2333
大洲ななほしクリニック	25-7710	河辺診療所	39-2010

➤ 市外の医療機関で予防接種を受けることも可能です。

その場合は、指定医療機関かどうか事前に各医療機関にお問い合わせください。

裏面へ

ジフテリアとは？

ジフテリア菌の飛沫感染でおこります。感染しても10%程度に症状が出るだけで残りは保菌者となり、その人を通じて感染することがよく知られています。

症状は高熱、のどの痛み、けんぱいよう犬吠様の咳、嘔吐などで、のどに偽膜を形成して窒息死することがある恐ろしい病気です。発病後2～3週間後には菌の出す毒素によって心筋障害や神経麻酔をおこすこともあります。

破傷風とは？

破傷風菌は人から人へ感染するのではなく、土の中にいる菌が傷口から人の体内に入ることによって感染します。

傷口から菌が入り体の中で増えると、菌の出す毒素のために、口が開かなくなったり、けいれん痙攣をおこしたり、死亡することもあります。患者の半数は自分では気がつかない程度の軽い刺し傷が原因です。日本中どこでも土中に菌はいますので、感染する機会は常にあります。

今回の二種混合予防接種とは…

乳幼児期に四種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ）予防接種をしており、今回は追加免疫をつけるために行います。免疫率は90%以上で、接種により患者発生は非常に減少しています。

接種前後の注意事項

予防接種は、免疫をつける反面ワクチンを接種しますので、軽い副反応や、まれに重い副反応がみられることがあります。

予防接種は、健康な体で調子のよいときに受けるように気をつけましょう。

副反応

接種部位が腫れることや全身反応がまれにあります。

- ・注射部分が赤くなる、だるさ、頭痛、発熱等

予防接種を受けたあと、接種局所のひどい腫れ、高熱、ひきつけなどの症状があったら、医師の診察を受けてください。症状が予防接種後副反応報告基準に該当する場合は、医師から大洲市へ副反応の報告が行われます。

ワクチンの種類によっては、極めてまれに脳炎や神経障害などの重い副反応が生じることもあります。

このような場合に、厚生労働大臣が予防接種法に基づく定期の予防接種によるものと認定したときは、予防接種法に基づく健康被害救済の給付の対象となります。



問合せ先

健康増進課/TEL:23-0310 長浜保健センター/TEL:52-3055
肱川保健センター/TEL:34-2340(河辺地区含む)